

卷末資料

資料 1	ASEAN 各国から提出された体育教師教育並びに障がい者スポーツの概要	91
資料 2	ワークショップ展開マニュアル	148
資料 3	ワークショップの様子（写真）	161
資料 4	ASEAN ホームページにおけるワークショップ開催に係るプレスリリース	162

PETEに関する情報



ブルネイ・ダルサラーム国

Mr. Haji Muhammad Azrin HAJI AJI

Ms. Noor Masieyzan HAJI OTHMAN

教育省

学校カリキュラムにおける体育

学校段階	科目名または内容の分野	学校カリキュラムにおける時間配分
幼稚園	体育	1時間の授業が1週間に1回(公立) 1時間の授業が1週間に2回(私立)
小学校	体育	1時間の授業が1週間に1回(公立) 1時間の授業が1週間に2回(私立)
中学校 (7~9年生)	体育、IGCSE体育、 BTECスポーツ&レジャー	1時間に2コマの授業が1週間に1回 (学校の生徒数による)
高等学校 (10~11年生)	体育、IGCSE体育、 BTECスポーツ&レジャー、 Aレベル体育	1時間に2コマの授業が1週間に1回 (学校の生徒数による)

体育の目的

学校段階	身体的領域	認知領域	情意領域	社会的領域
幼稚園	活動的であること	活動的であること	活動的であること	活動的かつ社会的であること
小学校	活動的であること、 運動の紹介	活動的であること、 人と交流できること	活動的であること	活動的かつ社会的であること
中学校	基本的な運動技能、 技術、精神運動技能、 身体能力	仲間との連携、配慮を もって仲間に接すること、 ルールに従ったプレー、 コミュニケーション	モチベーション、 自信、関与	知識、ルールの認識、フィード バック、プレー方法の理解、フ ェアプレー
高等学校	基本的な運動技能、 技術、精神運動技能、 身体能力	仲間との連携、配慮を もって仲間に接すること、 ルールに従ったプレー、 コミュニケーション	モチベーション、 自信、関与	知識、ルールの認識、フィード バック、プレー方法の理解、フ ェアプレー

体育を教える担当者 体育を教えるための教員免許

学校段階	体育を教える担当者 (学級担任または専門教師)	教員免許
幼稚園	他の科目も幅広く教える学級担任	非適用
小学校	他の科目も幅広く教える学級担任	非適用
中学校	専門教師	国内大学または海外大学で高等国家ディ プロマ/卒業証書と教員免許を取得
高等学校	専門教師	国内大学または海外大学で高等国家ディ プロマ/卒業証書と教員免許を取得

体育教師に求められる能力

- ・ 体カテストと複数のスポーツの技能テスト、およびPAR-Qを実施
- ・ 能力を身に付け、認定を受けるための小冊子を提供
- ・ 複数のスポーツの知識があることは常に利点
- ・ 教育省の職員の前で公開授業を実施
- ・ 深い理解の下で体育を教えることができる(ゲーム理解のための指導(TGFU)など)
- ・ スポーツの能力(競技能力)を分析し、評価できる

ブルネイ・ダルサラーム国のPETEにおける 継続的な専門教育(CPD)

学校段階	CPD
幼稚園	私立学校と公立学校で異なる
小学校	体育コース、 スポーツ科学レベル1コース M.Ed(教育)
中学校	学校別委員会会議/ワークショップ/コース/職場委員会会議の枠組み、M.Ed (教育)
高等学校	学校別委員会会議/ワークショップ/コース/職場委員会会議とCPDの 枠組み、M.Ed(教育)

ブルネイ・ダルサラーム国のPETEの良い点

学校段階	良い点
幼稚園	活動的なライフスタイルの紹介、子供たちがいつも楽しいゲームや活動に参加
小学校	活動的なライフスタイル(栄養)の紹介、子供たちがいつも楽しいゲームや活動に参加、小学校で競技会を開催
中学校	イベントはモジュール別に管理されている。また、授業は体系的に編成され、規律が守られ、動機付けされ、同時に複数作業をこなせ、適切で健全な考え方が盛り込まれ、しっかりとした時間管理が行われ、補助カリキュラムのクラブ/スポーツの日/才能発見への道筋となるように計画されている。
高等学校	イベントはモジュール別に管理されている。また、授業は体系的に編成され、規律が守られ、動機付けされ、同時に複数作業をこなせ、適切で健全な考え方が盛り込まれ、しっかりとした時間管理が行われ、補助カリキュラムのクラブ/スポーツの日/才能発見への道筋となるように計画されている。

ブルネイ・ダルサラーム国のPETEの問題点

学校段階	問題点
幼稚園	体育だけでなく他のあらゆる科目を教える専門の教師が不足しており、スポーツ用の施設が限られている。
小学校	体育だけでなく他のあらゆる科目を教える専門の教師が不足しており、スポーツ用の施設が限られている。
中学校	学校に限られた施設しかない、生徒に対する職員の割合はバランスがとれていない、スポーツにおけるジェンダー差別がある、カリキュラムまたはシラバスの更新と標準化が実施されていない、授業計画で優先されていない、私立学校と公立学校ではアプローチが異なる、関心がない(思春期)。
高等学校	学校に限られた施設しかない、生徒に対する職員の割合はバランスがとれていない、スポーツにおけるジェンダー差別がある、カリキュラムまたはシラバスの更新と標準化が実施されていない、授業計画で優先されていない、私立学校と公立学校ではアプローチが異なる、関心がない(思春期)。

ブルネイ・ダルサラーム国のPETEにおけるインクルージョン

学校段階	PETEプログラムにおけるインクルージョン
幼稚園 (就学前の学校)	<p>体育の授業で特別な支援を必要とする児童と障害のある児童のインクルージョンを実施 特別な支援を必要とする児童と障害のある児童のカテゴリ - 学習困難/学習障害、自閉スペクトラム症、言語発達障害</p> <p>特別な支援を必要とする児童と障害のある児童は、一般クラスと組み合わせて参加する。 重度の障害のある児童は、特別教育支援教師(SENA)が監督する。 特別な支援を必要とする児童と障害のある児童のニーズを満たすように、体育のシラバスを修正する。</p>
小学校 (1~6年生)	<p>体育の授業で特別な支援を必要とする児童と障害のある児童のインクルージョンを実施 特別な支援を必要とする児童と障害のある児童のカテゴリ - 学習困難/学習障害、自閉スペクトラム症、言語発達障害、注意欠陥多動性障害(ADHD)</p> <p>特別な支援を必要とする児童と障害のある児童は、一般クラスと組み合わせて参加する。 重度の障害のある児童は、特別教育支援教師(SENA)が監督する。 特別な支援を必要とする児童と障害のある児童のニーズを満たすように、体育のシラバスを修正する。 補助カリキュラム局と特別教育局の協力の下で開催される陸上競技に参加する。</p>

ブルネイ・ダルサラーム国のPETEにおけるインクルージョン

学校段階	PETEプログラムにおけるインクルージョン
中学校 (7~9年生)	<p>体育の授業で特別な支援を必要とする生徒と障害のある生徒のインクルージョンを実施 就職前プログラムをブルネイのすべての学校で実施する。</p> <p>特別な支援を必要とする生徒と障害のある生徒のカテゴリ - 学習困難/学習障害、自閉スペクトラム症、言語発達障害、身体障害</p> <p>特別な支援を必要とする生徒と障害のある生徒は、一般クラスと組み合わせて参加する。 重度の障害のある生徒は、学級担任が監督する。 特別な支援を必要とする生徒と障害のある生徒のニーズを満たすように、体育のシラバスを修正する。 補助カリキュラム局と特別教育局の協力の下で開催される陸上/ボッチャ競技に参加する。</p>
高等学校 (10~11年生)	<p>体育の授業で特別な支援を必要とする生徒と障害のある生徒のインクルージョンを実施 就職前プログラムをブルネイのすべての学校で実施する。</p> <p>特別な支援を必要とする生徒と障害のある生徒のカテゴリ - 学習困難/学習障害、自閉スペクトラム症、言語発達障害、身体障害</p> <p>特別な支援を必要とする生徒と障害のある生徒は、一般クラスと組み合わせて参加する。 重度の障害のある生徒は、学級担任が監督する。 特別な支援を必要とする生徒と障害のある生徒のニーズを満たすように、体育のシラバスを修正する。 特別教育局と補助カリキュラム教育局は、特別な支援を必要とする生徒のカテゴリを陸上競技会に含める。 スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アパダビヤパラリンピックなどの国際大会に参加する。</p>

ブルネイ・ダルサラーム国のPETEに関する研究

ブルネイの体育に関する研究論文:

Haji Ahmad, Siti Nor Harizah (2013年):ブルネイ・ダルサラーム国の新人体育教師とベテラン体育教師の体育授業で用いられる戦略の違い

Siti Norbadriah Zaini (2014年):ブルネイの小学生が徒歩で通学する際の障壁

Suryati Othman (2014年):特別な支援を必要とする児童の体育の授業におけるインクルージョンに関する小学校体育教師の見解

Abdul Hakim Bakar (2019年):ブルネイ・ダルサラーム国の中等教育における体育の反転学習の効果

ブルネイ・ダルサラーム国のPETEに関する研究

ブルネイの体育に関する研究論文:

Haji Abdullah bin Haji Saidi (2000年):試験計画1(PP1)に関する校長、教師、生徒の見解、および学習環境と労働環境に関する学校管理 未発表のM.Ed論文 ブルネイ・ダルサラーム大学

Abu Bakar bin Haji Apong, Yang Dimuliakan Pehin Orang Kaya Putera Maharaja Dato Seri Laila (1999年):インクルーシブな学校ですべての子供たちの教育ニーズに応えるための現在の到達点と今後の目標 第2回全国特別教育会議の議事録8~14ページ バンダルスリブガワン、特別教育課

L.Y.F. Mak (2001年):特別な支援を必要とする生徒のインクルーシブな教室への教育的適応の実施とそれに関する教師の見解 未発表のM.Ed論文 ブルネイ・ダルサラーム大学

ブルネイ・ダルサラーム国のPETEに関する研究

ブルネイの体育に関する研究論文:

M CaspoおよびOmar bin Haji Khalid(1996年):ブルネイ・ダルサラーム国における特別教育の発展、先進国/発展途上国の事例 *International Journal of Special Education*.11(3) 108-14

M Caspo, L. Mak, DK. ZainabおよびR. Burns(2001年):ブルネイの公立小学校に通う児童2人の学業成績に対する早期介入の取り組みの評価 *International Journal of Special Education*, 16 (1) 42-53

教育省カリキュラム開発局(2012年):カリキュラムと評価のための枠組みとガイドライン(7年生と8年生の一般科目、体育、社会科、経営、美術、技術)バンダルスリブガワンカリキュラム開発局

ブルネイ・ダルサラーム国のPETEに関する研究

ブルネイの体育に関する研究論文:

Omar bin Haji Khalid, Hajah Norjum binti Haji Yusop,G.C PangおよびY.F. Mak(2004年):ブルネイ・ダルサラーム国の小学校における学習支援プログラムの効果 Brunei Darussalam *Journal of Special education* 1(1~15ページ)

Haji Osman bin Haji Mat Noor(2000年):ブルネイ・ムアラ地区のセコラ・レンダ・マボハイでの特別教育プログラムの実施 未発表のM.Edフィールドプロジェクト研究 ブルネイ・ダルサラーム大学

J.G.C. Pang(2001年):ブルネイ・ダルサラーム国の公立小学校校長のインクルーシブな教育に対する姿勢 未発表のM.Ed論文 ブルネイ・ダルサラーム大学

ブルネイ・ダルサラーム国のPETEに関する研究

ブルネイの体育に関する研究論文:

Hajah Taibah binti Haji Ahmad(2003年):規定年齢を超えた生徒のニーズを満たすための就職前プログラムに関する関係者の見解 未発表のM.Ed論文 ブルネイ・ダルサラーム大学

K. TaitおよびL. Mundia(2012年):ブルネイ・ダルサラーム国のインクルーシブ教育の課題に教師が対処できるための準備

C. Forlin, インクルーシブ教育の教師教育のための今後の方向性:国際的な見解
ニューヨーク・ラウトレッジ

PETEに関する情報



カンボジア王国

Ms. HOU Sithisophealai

Mr. YI Sopheaktra

(国立体育・スポーツ研究所 / カンボジアパラリンピック委員会)

学校カリキュラムにおける体育

学校段階	科目名または内容の分野	学校カリキュラムにおける時間配分
幼稚園	心理運動能力	1週間あたり6時間
小学校	保健体育・スポーツ	1週間あたり2時間
中学校	体育	1週間あたり2時間
高等学校	体育・スポーツ	1週間あたり2時間

体育の目的

学校段階	身体的領域	認知領域	情意領域	社会的領域
幼稚園	肉体的かつ精神的に健康になる。 肉体的かつ精神的に精神的に強くなる。 賢明、勇敢、俊敏である。 さまざまな活動やゲームで、手や目の多様な動きを適切に行う。 バランスを取りながら歩く、走る、ジャンプする、四つん這いで進む、運動する。	さまざまな活動やゲームを通して、多様な手の動かし方を伝える。 さまざまな活動中に、どのように歩く、走る、ジャンプする、または四つん這いで進むかを示し、伝える。	さまざまな活動やゲームを効果的かつ安全に行うことで、忍耐力を身につけ、勤勉になり、幸せになり、身体活動や体を動かすことを好きになる。 自信を持って活動を行い、活動中に障害に立ち向かうことができる。	クラスメートと協力しながら楽しく活動やゲームに参加する。
小学校	3.満足してスポーツをやめてから自身の能力を発達させる段階へと進む上で必要な新しい技術、知識、または基礎体力を身につける。	基礎知識を習得する、自身の能力や考え方の発達段階に応じて適用するために必要な方法を学ぶ、あるいは多くの仲間と一緒に楽しくスポーツ活動に参加する。	自身の能力の発達段階に応じて、スポーツへの愛情、スポーツを尊重する姿勢、健康で安全なライフスタイルを身につける。	- 自身の発達段階や能力に応じて、多くの仲間とスポーツの練習を行うために必要な社会的技能を身につける。 -健康で安全な日常生活を送るために必要な良好なコミュニケーション能力、協調性、生活習慣を学ぶ。

体育の目的

学校段階	身体的領域	認知領域	情意領域	社会的領域
中学校	自身の発達段階や能力に応じて、スポーツや身体活動を楽しむための適切な技能を身につけ、戦術や適切な戦略を実施できる。	創造力を生かしながら、必要なすべての知識を習得して体育の各活動を遂行する。また、生涯にわたってスポーツや身体活動に参加する上で問題点を熟考して分析し、その知識を利用して問題を解決する。	スポーツや身体活動に対する前向きな姿勢を重んじて育み、各スポーツや身体活動に積極的に参加し、健康で豊かな日常生活を送る姿勢を身につける。	自身の発達段階と能力を考慮しながら、自身の役割と責任を果たし、考えを共有し、友人と一緒にスポーツや身体活動を楽しむ。
高等学校	自身の発達段階と能力を考慮しながら、高度な技能を習得して能力を向上させ、スポーツや身体活動を楽しむ。また、高度な技能、方法、戦術、および適切な戦略を用いて、これを発達のかつ適切に遂行できる。	知識と創造力を生かしながら、高度な知識を習得して体育の各活動を発達の的に遂行する。また、生涯にわたってスポーツや身体活動に参加する上で問題点を論理的に特定および分析し、その知識を応用して問題を解決する。	スポーツや身体活動に対する前向きな姿勢を深く重んじて育む。好きなスポーツに対する前向きな姿勢を育むことで、自らの能力に挑戦し、スポーツの重要性を見出し、それぞれのスポーツや身体活動を深く重んじ、社会において健康で豊かな日常生活を送る姿勢を身につける。	社会において健康で豊かな日常生活を送るために、それぞれのスポーツや身体活動に1人で、友人と一緒に、あるいは友人の誘いに応じて参加する。

体育を教える担当者 体育を教えるための教員免許

学校段階	体育を教える担当者 (学級担任または専門教師)	教員免許
幼稚園	幼稚園教師	幼稚園教師養成大学を卒業した幼稚園教師
小学校	小学校教師	教師養成大学または州教員養成大学を卒業した小学校教師
中学校	体育教師	国立体育・スポーツ研究所を卒業した体育教師
高等学校	体育教師	国立体育・スポーツ研究所を卒業した体育教師

体育教師に求められる能力

- ・ 体育分野の優れた基礎を有しており、教育のキャリアにおける卓越した知識、技能、姿勢を身につけた卒業生を輩出できる。
- ・ 体育教師の能力は、教師の専門的基準(MoEYS 2010)、教師養成大学の文学士(教育)カリキュラムの枠組み(MoEYS 2017)、教師養成者の基準(TEPS)(MoEYS 2016)、カンボジアの資格の枠組み(カンボジア王国、2012)、東南アジア諸国の教育能力基準(2010)、および一般教育・技術教育カリキュラムの枠組み(MoEYS 2016)に基づくべきである。
- ・ 資格のある体育教師として、中学校または高等学校でこの科目を効果的に教えることができる。

カンボジア王国のPETEにおける 継続的な専門教育(CPD)

学校段階	CPD
幼稚園	幼稚園教師養成大学が提供する現職教師向けの研修コース、または海外の短期研修コース
小学校	学校体育スポーツ局がNPO法人ハート・オブ・ゴールドと協力して提供する、小学校に体育教師マニュアルとシラバスを普及させるための現職教師向けの研修コース
中学校	学校体育スポーツ局がNPO法人ハート・オブ・ゴールドと協力して提供する、中学校に体育教師マニュアルとシラバスを普及させるための現職教師向けの研修コース 国立体育・スポーツ研究所が提供する、体育の新しい教育法に関する現職教師向けの研修コース
高等学校	学校体育スポーツ局がNPO法人ハート・オブ・ゴールドと協力して提供する、高等学校に体育教師マニュアルとシラバスを普及させるための現職教師向けの研修コース 国立体育・スポーツ研究所が提供する、体育の新しい教育法に関する現職教師向けの研修コース

カンボジア王国のPETEの良い点

学校段階	良い点
幼稚園	心理運動能力の科目は幼稚園のカリキュラムに含まれており、カリキュラムにおけるこの科目と他の科目のシラバスは、教師が利用できるようにクメール語で開発され、州教育局を通じてカンボジア全土の学校に配布されている。 幼稚園教師は、教師研修プログラムの中で、この科目を教える方法についての適切な研修を受けている。
小学校	体育科目は、教師/州教員養成大学の小学校教師教育プログラムのカリキュラムに含まれているため、小学校教師は、小学校で体育を教える十分な能力がある。
中学校	国立体育・スポーツ研究所(NIPES)には、2年制の研修プログラムと体育学士プログラムがあり、どちらのプログラムも、中学校の体育教師を目指している研修生に対して、体育教師教育プログラムを提供している。体育学士プログラムは、日本のNPO法人ハート・オブ・ゴールドとの協力の下、2019年に開発および導入された。 体育教師を目指す研修生は全員、NIPESで学ぶ資格を得るための入学試験を受けて選出される。
高等学校	国立体育・スポーツ研究所には、2年制の研修プログラムと体育学士プログラムがあり、どちらのプログラムも、高等学校の体育教師を目指している研修生に対して、体育教師教育プログラムを提供している。体育学士プログラムは、日本のNPO法人ハート・オブ・ゴールドとの協力の下、2019年に開発および導入された。 体育教師を目指す研修生は全員、NIPESで学ぶ資格を得るための入学試験を受けて選出される。

カンボジア王国のPETEの問題点

学校段階	問題点
幼稚園	カンボジア全土、特に農村地域で、幼稚園の教師が不足している。
小学校	カンボジア全土、特に農村地域で、小学校の教師が不足している。
中学校	カンボジア全土、特に農村地域で、中学校の体育教師が不足している。 体育の教育能力をより効率的に構築するためには、現職教師の研修を増やすことが必要である。多くの学校では、体育を教えるための教材とスペースが依然として不足している。 体育学士プログラムは2019年にNIPESで開発されたばかりのため、ほとんどの体育教師は、2年制の研修プログラムで教育されており、体育の学士号を持っていない。 NIPESでは、インフラと人材育成の強化が必要である(多くの教師養成者は体育の学士号を持っておらず、2年制研修プログラムの修了証書を持っているにすぎない) NIPESの2年制研修プログラムのカリキュラムを見直し、教科書を更新し、新しい教育法を現場の教師養成者に教える必要がある。
高等学校	カンボジア全土、特に農村地域で、高等学校の体育教師が不足している。 体育の教育能力をより効率的に構築するためには、現職教師の研修を増やすことが必要である。 多くの学校では、体育を教えるための教材とスペースが依然として不足している。 体育学士プログラムは2019年にNIPESで開発されたばかりのため、ほとんどの体育教師は、2年制の研修プログラムで教育されており、体育の学士号を持っていない。 NIPESでは、インフラと人材育成の強化が必要である(多くの教師養成者は体育の学士号を持っておらず、2年制研修プログラムの修了証書を持っているにすぎない) NIPESの2年制研修プログラムのカリキュラムを見直し、教科書を更新し、新しい教育法を現場の教師養成者に教える必要がある。

カンボジア王国のPETEにおけるインクルージョン

学校段階	PETEプログラムにおけるインクルージョン
幼稚園	障害のある児童のためのメインストリーミングやインクルーシブの教育は、幼稚園教師養成大学のカリキュラムに含まれている。 すべての幼稚園は、子供に優しい学校になるよう発展することが求められる。
小学校	NPCCはパラスポーツを推進している。 障害のある児童のためのメインストリーミングやインクルーシブの教育は、教師養成大学のカリキュラムに含まれている。 すべての小学校は、子供に優しい学校になるよう発展することが求められる。
中学校	NPCCはパラスポーツと国家特別教育機関のPETEを推進している。 【カリキュラムと教師用マニュアル】 ユネスコの体育・身体活動・スポーツに関する国際憲章(2015年)では、「体育・身体活動・スポーツの実践は、すべての人の基本的権利である」と宣言している。また、性別、年齢、障害、民族を問わず、誰もが体育・身体活動・スポーツを実践できることにも言及している。この目標を達成するには、教師は、性別、年齢、障害、民族を問わず、すべての子供たちがこの実践に参加できるように、体育クラスを考案する必要がある。
高等学校	NPCCはパラスポーツと国家特別教育機関のPETEを推進している。 【教師用マニュアル】 ユネスコの体育・身体活動・スポーツに関する国際憲章(2015年)では、「体育・身体活動・スポーツの実践は、すべての人の基本的権利である」と宣言している。また、性別、年齢、障害、民族を問わず、誰もが体育・身体活動・スポーツを実践できることにも言及している。この目標を達成するには、教師は、性別、年齢、障害、民族を問わず、すべての子供たちがこの実践に参加できるように、体育クラスを考案する必要がある。

カンボジア王国のPETEに関する研究

- ・ 国立体育・スポーツ研究所の2年制の教師研修プログラムの質が、カンボジアの中学校および高等学校における体育教師の教育に対する評価に反映されている。

PETEに関する情報



インドネシア共和国

Mr. Moses Eleazar FERDINANDUS

Mr. Luluk HADIYANTO

青年スポーツ省

学校カリキュラムにおける体育

学校段階	科目名または内容の分野	学校カリキュラムにおける時間配分
幼稚園	非適用	非適用
小学校	スポーツ・保健体育 1. 基本的な移動運動、非移動運動、および操作的運動 2. ゲームタイプの活動 3. 陸上 4. 基本的な体力 5. 健康	140分 / 週
中学校	スポーツ・保健体育 1. ゲームタイプの活動 2. 陸上 3. 体力 4. 新体操 5. 体操 6. 武道 7. 水中活動 8. 健康	120分 / 週

学校カリキュラムにおける体育

学校段階	科目名または内容の分野	学校カリキュラムにおける時間配分
高等学校	スポーツ・保健体育 1.ゲームタイプの活動 2.陸上 3.体力 4.新体操 5.体操 6.武道 7.水中活動 8.健康	135分 / 週

体育の目的

学校段階	身体的領域	認知領域	情意領域 / 社会的領域	精神的領域
幼稚園	非適用	非適用	非適用	非適用
小学校	基本的な運動を熟達できるように促す。	体育における基本運動について探求、発見、理解し、その知識を習得できるようになる。	家族、友人、教師との交流において、誠実さ、規律正しさ、責任感、礼儀正しさ、思いやり、自信のある行動を示す。間接的な指導をすれば、この目的を達成することができる。 スポーツ活動をするとなんと感じようになる。 周囲とのコミュニケーション方法を身に付けるようになる。	身体活動で宗教的価値観を重んじ、それらの価値観を実践する。 (原文: Respect and apply religious values in physical activities.)

体育の目的

学校段階	身体的領域	認知領域	情意領域 / 社会的領域	精神的領域
中学校	さまざまな身体活動を通じて特定の運動を行う。	<p>ゲームタイプの活動、体操、水中活動での特定の動きに関する概念を理解する。</p> <p>体操でさまざまな動作をすることを理解する。</p> <p>スポーツのルールに関する知識を増やし、スポーツ活動の目的を理解するようになる。</p>	<p>人々との交流やその存在の範囲内における社会的環境、自然環境と効果的に接することに対し、誠実な行動、規律、責任感、思いやり(寛容さ、協調)、礼儀正しさ、自信を示す。</p> <p>学校内外での身体活動で良い態度を示すことの重要性を理解する。</p> <p>自己能力を高め、経験したことについて情報交換する。</p>	<p>身体活動で宗教的価値観を重んじ、それらの価値観を実践する。</p> <p>(原文: Respect and apply religious values in physical activities.)</p>

体育の目的

学校段階	身体的領域	認知領域	情意領域 / 社会的領域	精神的領域
高等学校	各種身体活動をさまざまに探求し、集中して取り組み、詳しく学ぶようになる。	体育活動に関わる戦術と技法を使う能力を育む。	<p>スポーツ活動を日常生活の一部と感じる。</p> <p>周囲の環境で通用する個人の態度、価値観、考えを育む。</p>	<p>身体活動で宗教的価値観を重んじ、それらの価値観を実践する。</p> <p>(原文: Respect and apply religious values in physical activities.)</p>

体育を教える担当者 体育を教えるための教員免許

学校段階	体育を教える担当者(学級担任または専門教師)	教員免許
幼稚園	非適用	非適用
小学校	教師の学歴: 保健体育およびスポーツ	教育学士(S.Pd) および教育学士以上の学歴
中学校	教師の学歴: 保健体育およびスポーツ	教育学士(S.Pd) および教育学士以上の学歴
高等学校	教師の学歴: 保健体育およびスポーツ	教育学士(S.Pd) および教育学士以上の学歴

体育教師に求められる能力

● 個人的能力

前向きな性格、社交的、忍耐強い、規律正しい、誠実、謙虚、礼儀正しい、共感的、正直であるなど。
インドネシアの宗教的、法的、社会的、および文化的な規範に従って行動する。
誠実、高潔で、生徒とコミュニティの模範となる人物としてふるまう。
冷静さ、分別、思慮深さを備えた、信頼できる人物としてふるまう。

● 社会的能力

相手が生徒、同僚、教育スタッフ、生徒の親、より広いコミュニティであろうと、一般的に高いコミュニケーションスキル、好ましい態度、交流スキルを備えている。

● 教育能力

学習プロセスと生徒とのやり取りを管理し、カリキュラムを理解して実践し、一部の指導モデルに習熟し、それらをさまざまな状況や学習目標に応じて使用できる。

● 専門的能力

体育の概念を理解し、体育の授業中、上手な動きで身体活動を見せることができる。
教師として自信をもってふるまい、職業倫理、強い責任感、誇りを持つ。
教職の倫理規定を守る。

インドネシア共和国のPETEにおける 継続的な専門教育(CPD)

学校段階	CPD
幼稚園	非適用
小学校	Teacher Professional Education Center for Development and Empowerment of Educators and Education Personnel (教育者・教職員の育成と啓発のための教職専門教育センター)(P4TK)
中学校	Teacher Professional Education Center for Development and Empowerment of Educators and Education Personnel (教育者・教職員の育成と啓発のための教職専門教育センター)(P4TK)
高等学校	Teacher Professional Education Center for Development and Empowerment of Educators and Education Personnel (教育者・教職員の育成と啓発のための教職専門教育センター)(P4TK)

インドネシア共和国のPETEの良い点

学校段階	良い点
幼稚園	非適用
小学校	革新的な工夫をしたり、学習機器を改造したりすることができる。 伝統スポーツのスキル 高い運動機能
中学校	スポーツにおける基本的な動作 PEのあらゆる領域の発展をカリキュラムで支援
高等学校	

インドネシア共和国のPETEの問題点

学校段階	問題点
幼稚園	非適用
小学校	運営、 教師の質(指導技術、およびカリキュラムの実施に対する幅広い理解)、 指導法、設備とインフラ
中学校	
高等学校	

インドネシア共和国のPETEにおけるインクルージョン

学校段階	PETEプログラムにおけるインクルージョン
幼稚園	非適用
小学校	ナショナルカリキュラムとの統合 体育授業の実践では、規定修正、指導シナリオ、器具のタイプ、指導環境に焦点を置く 必要がある。
中学校	
高等学校	

インドネシア共和国のPETEに関する研究

Burhaein, E., Tarigan, B., Budiana, D., Hendrayana, Y., Phytanza Diajeng Tyas, P. (2021年)/**Physical Activity Level of Students with Disabilities during COVID-19 Pandemic**(新型コロナウイルス大流行時における障害を持つ生徒の身体活動レベル)『Jurnal Pendidikan Jasmani Dan Olahraga』236~242ページ

Widyawan, D., Ma'Mun, A., Rahely, B., Hendrayana, Y. (2020年)/**Parents of Students with Disabilities Views in Learning Physical Education in Special Needs School**(特別支援学校の体育学習に対する、障害を持つ生徒の親による視点)『Qualitative Report』25(4)

Mahendra, A., Budiman, D., Stephani, M. R., Suntoda, A., Budiana, D., Lubay, L. H., Nugroho, W. A. (2020年)/ **Adaptive Physical Education Teachers' Profile in Indonesia: The Opportunity of Improving Adaptive Physical Education Status**(インドネシアにおける適応体育教師のプロフィール: 適応体育の状況を改善する機会)『TEGAR: Journal of Teaching Physical Education in Elementary School』4(1), 11~18ページ

インドネシア共和国のPETEに関する研究

Sultanto, M. A., Al Afghani, R. I., Salsabila, I. A., Rohimat, S. S., Meisya, S. D., Stephani, M. R. / **Development of TISERA Application in Physical Education Learning for Student with Hearing Impairment**(聴覚障害を持つ生徒のための体育学習におけるTISERAアプリケーションの開発)『TEGAR: Journal of Teaching Physical Education in Elementary School』5(1)

新型コロナウイルスが世界的に流行している状況の中、体育の授業では、学習が未終了のままになるか、学習の機会が失われることとなった。未終了の学習には、身体活動と健康概念の側面が含まれる。身体活動ができないため、生徒の健康に影響が及び、さらに大きな結果として、身体能力にも影響するおそれがある。これらの問題に取り組むには、パンデミック中の指導法を研究することが必要である。

PETEに関する情報



ラオス人民民主共和国

Ms. Chanhthone KHAMKONG
Mr. Thongsavath VONGSAVANG
体育大学 / 教育スポーツ省

学校カリキュラムにおける体育

学校段階	科目名または内容の分野	学校カリキュラムにおける時間配分
小学校	体育科目は以下の4つの部分で構成される • 基本的な体操 • 身体と技能の発達 • 陸上 • ラオスの伝統スポーツと国際スポーツ	1週間あたり2時間
中学校	体育科目は以下の4つの部分で構成される • 理論 • 体操 • 陸上 • 選択したスポーツ	1週間あたり2時間
高等学校	カリキュラムには以下の3つの部分の理論と実践が含まれる • 基本的な体操 • 陸上 • 選択したスポーツ	1週間あたり2時間

体育のカリキュラムには、知識、技能、姿勢と価値観という3つの目標がある

領域	要素	
身体	体の動き 年をとることによる成長とリプロダクティブ・ヘルス 身体的発達	
知識	内容の知識 娯楽 陸上 選択したスポーツ 伝統スポーツ	
技能	運動技能 体力 機敏性 用具を使用した動き	自己調整(感情および身体) 他者とのコミュニケーション 自己認識 モチベーションと自信 創造性と革新性
姿勢と価値観	愛国心と文化 練習を好む 楽しむ 結束 チームワーク	

体育を教える担当者 体育を教えるための教員免許

学校段階	体育を教える担当者 (学級担任または専門教師)	教員免許
幼稚園と小学校	学級担任	研修に参加し、修了証書を取得している者
中学校と高等学校	体育教師	中級以上の学位を有し、(ラオスの)体育大学の研修に参加し、修了証書を取得している者

体育教師に求められる能力

- ・ 生徒の総合的な発達と平静を支援し、健康な体と偉大な精神を持つ人になるよう働き掛ける。
- ・ 強い体と良好な生理機能を持つために、運動することを好み、自分の体を大切にする。
- ・ ラオス人民民主主義の制度を尊重し、自国を愛し、ラオスで生まれたことを誇りとし、偉大な精神を持ち、環境を守り、善人であり、ラオスとその他の国のすべての民族と結束し、自身の好みを作り出し、自身の影響力を生み出す。

ラオス人民民主共和国のPETEにおける 継続的な専門教育(CPD)

学校段階	CPD
幼稚園	
小学校	教育・学習ガイドブックのためのカリキュラム開発 カリキュラム研修への参加体制を構築する。
中学校	教育・学習ガイドブックのためのカリキュラム開発 カリキュラム研修への参加体制を構築する。
高等学校	教育・学習ガイドブックのためのカリキュラム開発 カリキュラム研修への参加体制を構築する。

ラオス人民民主共和国のPETEの良い点

学校段階	良い点
幼稚園	
小学校	小学校、中学校、高等学校での教育と学習に適用される国家教育カリキュラムで定められている5つの原則のうちの1つとして体育がある。 カリキュラムは、体育を教える教師が授業計画を立てるのに役立つ。
中学校	小学校、中学校、高等学校での教育と学習に適用される国家教育カリキュラムで定められている5つの原則のうちの1つとして体育がある。 カリキュラムは、体育を教える教師が授業計画を立てるのに役立つ。
高等学校	小学校、中学校、高等学校での教育と学習に適用される国家教育カリキュラムで定められている5つの原則のうちの1つとして体育がある。 カリキュラムは、体育を教える教師が授業計画を立てるのに役立つ。

ラオス人民民主共和国のPETEの問題点

学校段階	問題点
幼稚園	
小学校	体育教師がいない学校もある。 教育と学習を支援するための十分な教材がない。 理論だけを教える学校もある。
中学校	体育教師がいない学校もある。 教育と学習を支援するための十分な教材がない。 理論だけを教える学校もある。
高等学校	体育教師がいない学校もある。 教育と学習を支援するための十分な教材がない。 理論だけを教える学校もある。 身体やスポーツに関する知識や技能が限られていることに加えて、外国語の学習、テクノロジーや電子機器の使用に関する知識、研修への参加が不十分であり、改善が必要である。

ラオス人民民主共和国のPETEにおけるインクルージョン

学校段階	PETEプログラムにおけるインクルージョン
幼稚園	ラオス人民民主共和国における健常者の生徒および障害のある生徒のための体育には、以下のような状況がある。
小学校	- 障害のある生徒の一部は、健常者の生徒と同じ学校に通うことができる。 - 障害のある生徒のための私立学校と公立学校がある。 - 障害のある生徒は、労働技能開発センターで学ぶことができる。
中学校	
高等学校	

ラオス人民民主共和国のPETEに関する研究

PETEの対象モデル校36校に対する2018年の評価報告書では、以下のような概要が浮き彫りにされている。

1.1. 一般情報

- | | |
|---|-------|
| 1) 体育専用教室 | 4教室 |
| 2) 練習室 | 5教室 |
| 3) ホール | 20ホール |
| 4) サッカー、バレーボール、カトール、鉄棒、平行棒、陸上など、4種類以上の競技を実施できるスポーツ競技場 | |

• 36の対象モデル校でPETEを教える教師の数は以下の通りである。

- | | |
|----------|------------|
| 1) 体育教師 | 98名(女性25名) |
| 2) 体育助教諭 | 10名(女性1名) |

1.2 体育モデル校の設置基準

場所: 評価報告書では、学校の場所が、平均スコア4.60の良いレベルにあることが示されている。適切で利便性があり、校内競技会を開催でき、静かで清潔な場所に学校が設置されていることが、このスコアの理由である。ただし、競技場の大きさが十分でない、競技場では完全に5種類のスポーツ競技を実施できない、基準を満たしていないために基本的な練習を行うことができないなど、考慮すべき指標がいくつかある。

競技場の構造：

評価では、競技場の構造が平均スコア3.22という中程度のスコアであることが浮き彫りにされている。屋根のある競技場や専用の教室はない。これらの結果は、さらに注意を払い、発展させるよう促すものである。

教師：

評価では、教師の指標が、平均スコア4.70という良いスコアを得ていることも示されている。すべての学校に基準を満たした体育教師や体育助教諭がいることが、このスコアの理由である。

学校の基準：

評価では、学校の基準が、平均スコア4.44という良いスコアを得ていることが示されている。教育・学習モジュールの完全なコース、月1回のテストと学期ごとのテスト、教育計画、ハンドブックがあり、活動が企画され、校内競技会の練習があり、生徒は校内競技会に参加している。ただし、県のスポーツ大会への参加が少ない、参加しない学校があるなど、さらなる改善が必要であることも示されている。

学校長の基準：

評価では、学校長の基準が、平均スコア4.63という高いスコアを得ていることが示されている。学校長は常に、体育の才能のある生徒を支援し、学内の結束を強め、地域社会との良好な関係を築いている。

教師の基準：

評価では、教師の基準の指標が、平均スコア4.64という優れたスコアであることも示されている。教師は主に、適切な技能を持つ体育教師である。ただし、教育資料や教材の状態が良くないなど、さらなる改善が必要であることも示されている。

生徒の基準：

評価では、生徒の基準の指標が、平均スコア4.50という良いスコアを得ていることも示されている。生徒たちは、高い関心を示し、自身の才能に基づいて勉強やスポーツ活動への参加に目を向けている。ただし、教育と学習のためのコミュニケーション、体育教材の提供、学校のインフラ保全などが適切に行われていないといった点をさらに改善することが必要であることも示されている。

2. 体育の仕事に関する研究については、体育大学が、「南部5県の対象モデル校での体育の教育・学習」という題名で研究を行う準備を進めている。

PETEに関する情報



マレーシア

Ms. Solehah binti MISRON
Ms. Rafidah binti ABU BAKAR
教育省および青年スポーツ省

学校カリキュラムにおける体育

学校段階	科目名または内容の分野	学校カリキュラムにおける時間配分
幼稚園 (就学前の学校、4～6歳)	屋外活動 i. 身体活動 ii. 自由遊び	1週間あたり2時間(120分) i. 身体活動(1週間あたり30分x2回) ii. 自由遊び(1週間あたり20分x3回)
小学校 (初等学校) 1～6年生、7～12歳	保健体育	1週間あたり3コマ(1コマ30～40分)
中学校 (中等学校) 1～3年生、13～15歳	保健体育	2週間あたり体育は3時間、保健は1時間
高等学校 (中等学校) 4～5年生、16～17歳	保健体育	1週間あたり3コマ(1コマ30～40分)

体育の目的

学校段階	身体的領域	認知領域	情意領域	社会的領域
幼稚園 (就学前の学校、 4～6歳)	さまざまな微細運動と粗大運動を行う 平衡感覚と制御を伴う動作を行う。 さまざまな動きを探索する。 さまざまな技能を操る。	バランスのとれた食事と個人の衛生意識を通して、健康的なライフスタイルを身につける。	個人の安全を確保し、安全を保つことの重要性を理解する。	社会的技能の価値を理解する。
<p>コミュニケーション、精神性・姿勢・価値観、人文科学、個人的能力、身体的発達と美学、科学技術という6つの基本要素を基に、枠組みが構築されている。</p> <p>これらの6つの要素は互いに支え合い、批判的で創造的な思考や革新的な技能と統合されている。この統合によって、上述の各要素を正しく評価し、体現するバランスのとれた個人を育成することを目指している。</p>				

体育の目的

学校段階	身体的領域	認知領域	情意領域	社会的領域
小学校 (初等学校) 1～6年生、7～12歳	基本動作、ゲーム、スポーツ、ダンス、身体活動を習得する。 運動の概念と戦略を適用しながら、体力と個人の健康を維持する活動を行う。	身体的発達、体力、および個人の健康を維持し、向上するために必要な知識、技能、価値観を習得する。 活動的で健康的な生活をもたらす要因を理解する。	楽しい環境で活動を行い、体力と個人の健康を向上する。	身体活動と健康活動を通して、コミュニケーション能力を向上させ、良好な関係を築き、創造的で批判的な思考を用いることで、アイデンティティを形成する。
<p>枠組み: コミュニケーション、精神性・姿勢・価値観、人文科学、個人的能力、身体的発達と美学、科学技術という6つの基本要素</p> <p>目的: 体力と健康を維持し、活動的なライフスタイルを身につけるための知識、技能、前向きな価値観や姿勢を持つ生徒を育成すること</p>				

体育の目的

学校段階	身体的領域	認知領域	情意領域	社会的領域
中学校 (中等学校) 1～3年生、 13～15歳	さまざまな運動パターンと運動技能を習得して、その技能分野の身体活動(体操、リズムに合わせた運動など)を行う。 体力と身体能力のレベルを向上し、維持する。	体力と身体能力を向上する概念、原則、戦略に関する知識を適用する。	安全要素、社会学的概念と心理学的概念、原則、戦略を通して、体育の実践を強化することで、以下を伴う身体活動を効果的に実施する。 スポーツにおける管理と安全、自己責任、社会的相互作用、グループダイナミクスと倫理	身体活動と健康活動を通して、コミュニケーション能力を向上させ、良好な関係を築き、創造的で批判的な思考を用いる。 環境と社会への適応 スポーツを通じた多民族関係

枠組み:

中学校の基準カリキュラム(KSSM)は、コミュニケーション、精神性・姿勢・価値観、人文科学、個人的能力、身体的発達と美学、科学技術という6つの要素に基づいている。これらの6つの要素は、互いに補完し合い、批判的、創造的、かつ革新的な思考と統合される主要な領域である。この統合によって、宗教、知識、能力、批判性、創造性、革新性に基づいて道徳的価値を説く人材を育成することを目指している。

目的:

体力と健康を維持し、活動的なライフスタイルを身につけるための知識、技能、前向きな価値観や姿勢を持つ生徒を育成すること

体育の目的

学校段階	身体的領域	認知領域	情意領域	社会的領域
高等学校 (中等学校) 4～5年生、 16～17歳	さまざまな運動パターンと運動技能を習得して、その技能分野の身体活動(体操、リズムに合わせた運動など)を行う。 体力と身体能力のレベルを向上し、維持する。	体力と身体能力を向上する概念、原則、戦略に関する知識を適用する。	安全要素、社会学的概念と心理学的概念、原則、戦略を通して、体育の実践を強化することで、以下を伴う身体活動を効果的に実施する。 スポーツにおける管理と安全、自己責任、社会的相互作用、グループダイナミクスと倫理	身体活動と健康活動を通して、コミュニケーション能力を向上させ、良好な関係を築き、創造的で批判的な思考を用いる。 環境と社会への適応 スポーツを通じた多民族関係

枠組み:

高等学校の基準カリキュラム(KSSM)は、コミュニケーション、精神性・姿勢・価値観、人文科学、個人的能力、身体的発達と美学、科学技術という6つの要素に基づいている。これらの6つの要素は、互いに補完し合い、批判的、創造的、かつ革新的な思考と統合される主要な領域である。この統合によって、宗教、知識、能力、批判性、創造性、革新性に基づいて道徳的価値を説く人材を育成することを目指している。

目的:

体力と健康を維持し、活動的なライフスタイルを身につけるための知識、技能、前向きな価値観や姿勢を持つ生徒を育成すること

体育を教える担当者 体育を教えるための教員免許

学校段階	体育を教える担当者(学級担任または専門教師)	教員免許
幼稚園	学級担任	非適用 ** 教育サービス職員計画に基づき教師を任命する。
小学校	(体育/スポーツ科学の学位を持つ) 専門教師	
中学校	(体育/スポーツ科学の学位を持つ) 専門教師	
高等学校	(体育/スポーツ科学の学位を持つ) 専門教師	

体育教師に求められる能力

- 運動学習、運動発達、生体力学、生理体操、スポーツ心理学、価値美学を適用したスポーツ社会学など、体育の学問分野を基盤とする運動や体力に関する知識と技能
- 幼稚園、小学校、中学校、高等学校のカリキュラムの枠組みを理解している。
- 専門的技能の学習、照会に基づく学習、課題に基づく学習、探索的方法に基づく学習、ゲーム理解のための指導(TGfU)、統合的アプローチ、多重知性理論の適用、文脈学習をはじめとする教育戦略や学習戦略に精通している。
- 21世紀型スキル、高次思考スキル、クロスカリキュラム要素を習得している。
- 学校評価の管理を理解している。
- 体育を教えることへの情熱

マレーシアのPETEにおける 継続的な専門教育(CPD)

学校段階	CPD
幼稚園	3つの取り組み: 1. 個別の取り組み 2. 学校別の取り組み 3. 教育省の取り組み CPDの活動: 1. 専門家の学習コミュニティ 2. ポータルe-Guru 3. セミナー、シンポジウム、会議、フォーラム、対話セッション 4. 研究 5. ベンチマーク 6. イノベーション 7. コーチングとメンタリング 8. ワークショップ 9. 学力向上プログラム 10. 書評
小学校	
中学校	
高等学校	

マレーシアのPETEの良い点

学校段階	良い点
幼稚園	指定カリキュラム - 幼稚園の国家標準カリキュラム 研修を受けた教師 学校ごとの評価
小学校	指定カリキュラム - 小学校の国家標準カリキュラム 研修を受けた教師 教科書 最新のモジュール 学校ごとの評価
中学校	指定カリキュラム - 中学校の国家標準カリキュラム 研修を受けた教師 教科書 最新のモジュール 学校ごとの評価
高等学校	

マレーシアのPETEの問題点

学校段階	問題点
幼稚園	1. 時間的要因 2. 天候 3. 体育教師の不足 4. インフラ - 設備や用具
小学校	
中学校	
高等学校	

マレーシアのPETEにおけるインクルージョン

学校段階	PETEプログラムにおけるインクルージョン
幼稚園	インクルーシブ教育プログラム
小学校	学校の統合教育プログラム インクルーシブ教育プログラム
中学校	学校の統合教育プログラム インクルーシブ教育プログラム
高等学校	学校の統合教育プログラム インクルーシブ教育プログラム

マレーシアのPETEに関する研究

- 1) 教師に関連する課題→(マレーシアのPETEの主題/課題)
- 2) 生徒に関連する課題
- 3) 運営の課題
 - a) 体育指導の監督/監視
 - b) 体育の授業は拡大可能
 - c) スタッフトレーニングプログラム(STP)
- 4) 構造に関連する課題(設備と用具)

マレーシアのPETEに関する研究

- * さらなる学び(修士号/博士号)を希望する教師を対象に、より多くの研究が行われている。
- * 事例研究/実地研究が学校ごとに行われている。
- * 体育教育についてのすべての研究は、教育省教育計画研究局で文書化されている。

PETEに関する情報



ミャンマー連邦共和国

Mr. Ko Ko Htay

Prof. Than Than Htay教授

教育省 / ミャンマーパラリンピックスポーツ連盟

学校カリキュラムにおける体育

学校段階	科目名または内容の分野	学校カリキュラムにおける時間配分
幼稚園	体育	4
小学校 (1年～5年生)	体育	4
中学校 (6年～9年生)	体育	2
高等学校 (10年～12年生)	体育	1

体育の目的

学校段階	身体的領域	認知領域	情意領域	社会的領域
幼稚園	フィットネス運動	歌と遊び	競争を取り入れたゲーム	グループで行うゲーム
小学校	フィットネス運動	歌と遊び	競争を取り入れたゲーム	グループで行うゲーム
中学校	体力	スポーツイベント	スポーツに関連した健康知識	スポーツイベント
高等学校	体力	スポーツイベント	スポーツに関連した健康知識	スポーツイベント

生涯にわたる健康と体力の維持と5つのCの向上が、体育の大枠での目標と設定されている。
5つのCとは（協調性：Collaboration、コミュニケーション能力：Communication、批判的思考：Critical Thinking、創造性：Creativity、市民としての参加意識：Citizenship）に該当する。

体育を教える担当者 体育を教えるための教員免許

学校段階	体育を教える担当者 (学級担任または専門教師)	教員免許
幼稚園	体育教師を特に任命していない。	初等教育教師の研修
小学校	体育教師を特に任命していない。	初等教育教師の研修
中学校	中学校の(体育)教師	体育教師の研修および 中学校教師の研修
高等学校	高等学校の(体育)教師	体育教師の研修および 教育学士の学位

体育教師に求められる能力

- ・ スポーツに堪能であること
- ・ 初等教育の教師として2年の経験があること
- ・ 体育に特化した学校及び大学レベルでの研修経験
- ・ 体育教師研修を受講していること
- ・ 体育教師の再教育コースを受講していること
- ・ 体育教師への指導能力

ミャンマー連邦共和国のPETEにおける 継続的な専門教育（CPD）

学校段階	CPD
幼稚園	小学校における教員研修 中・高レベルに対応できる体育科研修
小学校	小学校における教員研修 中・高レベルに対応できる体育科研修
中学校	（体育における）専門分野ごとの免許取得を目的とした再教育研修
高等学校	（体育における）専門分野ごとの免許取得を目的とした再教育研修、 体育セクションの運営、各スポーツの最新ルールおよび理論の普及

ミャンマー連邦共和国のPETEの良い点

学校段階	良い点
幼稚園	体育科目は、改革後の新カリキュラムではコアカリキュラム（共通教育科目）になる。また年に1回程度、州もしくは自治区単位での体育課再教育コースを実施している。
小学校	体育科目は、改革後の新カリキュラムではコアカリキュラム（共通教育科目）になる。また年に1回程度、州もしくは自治区単位での体育課再教育コースを実施している。
中学校	体育科目は、改革後の新カリキュラムではコアカリキュラム（共通教育科目）になる。また年に1回程度、州もしくは自治区単位での体育課再教育コースを実施している。
高等学校	体育科目は、改革後の新カリキュラムではコアカリキュラム（共通教育科目）になる。また年に1回程度、州もしくは自治区単位での体育課再教育コースを実施している。

ミャンマー連邦共和国のPETEの問題点

学校段階	問題点
幼稚園	体育教師を特に任命していない。 (通常の教員が体育も担当している)
小学校	体育教師を特に任命していない。 (通常の教員が体育も担当している)
中学校	教員の欠員が非常に多い。 スポーツ用具が不足している。 研修機会が限られることに起因した体育教師能力向上の停滞がみられる。
高等学校	教員の欠員が非常に多い。 スポーツ用具が不足している。 研修機会が限られることに起因した体育教師能力向上の停滞がみられる。

ミャンマー連邦共和国のPETEにおける インクルージョン

学校段階	PETEプログラムにおけるインクルージョン
幼稚園	—
小学校	—
中学校	—
高等学校	—

障がい者スポーツは、社会福祉・救済・復興省が管轄
全国には計7校の盲学校（2校が政府運営、5校がNGOによる運営）、計3校のろう学校（2校が政府運営、1校がNGOによる運営）、大人の障がい者向け訓練校が1校、子供の障がい者訓練校が1校、障がい者ケアセンターが1か所運営されている。

ミャンマー連邦共和国のPETEに関する研究

- 1) 教師に関連する課題→（ミャンマーのPETEの主題/課題）
体育科教員として任命されるにあたり、求められる条件が高いこと
- 2) 生徒に関連する課題
系統的、体系的な体育が授業の実施能力の欠如、体育自体に関する知識不足、SDGs の概念に即した教育（「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し生涯学習の機会を促進する」）の実現を目途とした体制整備（2030年まで）
- 3) 運営の課題
 - a) 体育指導の監督/監視
意識の向上が課題
 - b) 体育の授業は拡大可能
現状（幼稚園や小学校レベルで）体育が個別の教科として明確に規定されていない。
 - c) スタッフトレーニングプログラム（STP）
現状プログラムは無い。

ミャンマー連邦共和国のPETEに関する研究

4) 構造に関連する課題（設備と用具）

教育省内に体育課部署としての独立した組織編制が無く、現状教育課内の一部として業務が行われている。

PETEに関する情報



シンガポール共和国

Mr. Andrew LEE

Ms. Kelly FAN

文化・社会・青年省 / シンガポール障がい者スポーツ評議会

学校カリキュラムにおける体育

学校段階	科目名または内容の分野	学校カリキュラムにおける時間配分
幼稚園	運動技能の発達	非適用
小学校	体育	1週間あたり2～2.5時間
中学校	体育	1週間あたり2時間
高等学校	体育	1週間あたり2時間

体育の目的

学校段階	身体的領域	認知領域	情意領域	社会的領域
幼稚園	<p>言及された体育授業計画は次のとおり:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 体育の目的: 体育の目的は、生徒が個人でまたは他者と一緒に身体的なスキル、練習、価値観を実践して、活動的で健康的な生活を楽しめるようにすることである。 2. 体育の目標: 個人でまたは他者と一緒に身体的なスキル、練習、価値観を実践して、活動的で健康的な生活を楽しむことができる個人の発達を促す指針になること。これらの目標のひとつひとつが等しく重要であり、どの生徒にとっても望ましい知識、スキル、価値観を育む十分に練られたプログラムで相互に作用する。 <p>目標は次のとおり:</p> <p>目標1: 幅広い運動技能を身に付けてさまざまな身体活動に参加する。</p> <p>目標2: 幅広い身体活動における運動の概念、原理、戦略を理解し、実践する。</p> <p>目標3: 自分、他者、環境に配慮しながら、身体活動および日常活動中に安全に実践できることを示す。</p> <p>目標4: さまざまな体験で前向きな個人的、社会的行動を示す。</p> <p>目標5: 身体活動に定期的に参加することで、健康増進する体力をつけて維持する。</p> <p>目標6: 身体的に活発で健康な生活を送ることのメリットを享受し大切にすること。</p>			
小学校				
中学校				
高等学校				

体育を教える担当者 体育を教えるための教員免許

学校段階	体育を教える担当者 (学級担任または専門教師)	教員免許
幼稚園	学級担任	幼児保育・教育の免許 幼児発育・教育の免許
小学校	専門教師(資格のある体育教師)	免許(体育、小学校) 理学士(教育) 教育修士(体育)
中学校	専門教師(資格のある体育教師)	理学士(教育) 教育修士(体育)
高等学校	専門教師(資格のある体育教師)	理学士(教育) 教育修士(体育)

体育教師に求められる能力

体育教師に必要とされる特定の能力はないが、教育者全員が教職倫理規範の5つの側面を通じて教職倫理規範を守ることが求められる。

- シンガポールの教育者の教育哲学
教職の核になる信念と信条を捉え、教職実践の基盤になっている。
- 教育による望ましい成果
教職仲間の共通目的となって教育と学校の方針、プログラム、授業を導く。
- 教師のビジョン
教職の志と役割を明確に示すことで、教師が卓越したプロフェッショナリズムを追求する上で実践すべきことに注力できるようにする。
- 教師の誓約
教職の実践中に最高レベルのスタンダードを守るために、各教師が誓う公的な約束である。
- 教師の信条
退職した教育者と現役教育者の教育実践を体系化し、暗黙の信念を明確化する。
教師が責任と義務を遂行し、卓越したプロフェッショナリズムの達成を約束して実現する上で指針となる。

シンガポール共和国のPETEにおける 継続的な専門教育(CPD)

学校段階	CPD
幼稚園	MOEは、体育教師の知識を深め、指導スキルを磨き、3つの領域(科目の知識、専門職としての実践、取り組みとアドボカシー)に専心できるよう、特別に設計された幅広いCPD活動を提供する。
小学校	専門教育活動では、各段階の教師(新人教師、ベテラン教師、熟練教師)の役割で教師が必要とすることに主眼を置く。
中学校	専門教育活動は、ワークショップとプログラム、学校サポート、ネットワークを通じて実施される。
高等学校	NIEは、体育教師を対象に学部課程と大学院課程のコースを提供する。

シンガポール共和国のPETEの良い点

学校段階	良い点
幼稚園	構造(教員養成研修と退職教員の研修) 新人教師のサポート(最初の3年間) 継続的な専門教育(CPD) - シンガポール教員アカデミー(AST: Academy of Singapore Teachers) 校内指導教育プログラム(主幹教諭と熟練教員) 教育省/国立教育学院によって中央管理 国定カリキュラム (教育実習中の)実際の教職体験で補完される理論的・実践的コース 教育資源(印刷物とデジタル版)へのアクセス
小学校	
中学校	
高等学校	

シンガポール共和国のPETEの問題点

学校段階	問題点
幼稚園	最新のカリキュラムに合わせて最新の状態を維持し、十分に練られたPETEシステム/エコシステムがある国を目標にベンチマーキングを実施する上で、問題というよりも課題がある。 また、PETEが親と協力体制を築いて、体育の目標の一部をより効果的に達成するにはどうしたらいいか(家庭と学校)。
小学校	
中学校	
高等学校	

シンガポール共和国のPETEにおける インクルージョン

学校段階	PETEプログラムにおけるインクルージョン
幼稚園	NIECによる、幼児期介入（特別支援）の専門教員免許 NIECによる、幼児学習支援の専門教員免許 （上記は体育教師以外も対象）
小学校	インクルーシブPEワークショップ（8時間） インクルーシブPEプラスワークショップ（8時間） PETIに関心のある教師を含む全教師を対象とする特別教育ニーズ（一般）の コースとワークショップ
中学校	
高等学校	

シンガポール共和国のPETEに関する研究

- 1) 教師に関連する課題→（シンガポールのPETEの主題/課題）
シンガポールの学校の生徒が受ける体育（PE）の学習成果に対する情報コミュニケーションおよびテクノロジーベースの介入プログラムの効果
- 2) 生徒に関連する課題
子供の健康的な食行動を増やし、座位行動を減らすための多要素プログラムの開発、実施、および評価
- 3) 運営の課題
 - a) 体育指導の監督/監視
結果の成功、ジェンダー、動機は基本的な運動技能評価に影響するのか。
 - b) 体育の授業は拡大可能
—
 - c) スタッフトレーニングプログラム（STP）
—
- 4) 構造に関連する課題（設備と用具）
—

PETEに関する情報



タイ王国

Dr. Kasem NAKORNKHET

Dr. Taweechoak PONGDEE

体育局、観光・スポーツ省

学校カリキュラムにおける体育

学校段階	科目名または内容の分野	学校カリキュラムにおける時間配分
幼稚園	非適用	非適用
小学校	非適用	非適用
中学校	運動とスポーツ	50分/週
高等学校	運動とスポーツ	50分/週

体育の目的

学校段階	身体的領域	認知領域	情意領域	社会的領域
幼稚園	非適用	非適用	非適用	非適用
小学校	非適用	非適用	非適用	非適用
中学校	あり	あり	あり	あり
高等学校	あり	あり	あり	あり

体育を教える担当者 体育を教えるための教員免許

学校段階	体育を教える担当者 (学級担任または専門教師)	教員免許
幼稚園	非適用	非適用
小学校	非適用	非適用
中学校	体育教師	体育の学士号以上
高等学校	体育教師	体育の学士号以上

体育教師に求められる能力

- 指導力
- 対人スキル
- コミュニケーション
- 忍耐力と適応力
- 調整力
- 創造性

およびインターネット上のコンピュータプログラムとアプリケーションの技術的スキル

タイ王国のPETEにおける 継続的な専門教育(CPD)

学校段階	CPD
幼稚園	非適用
小学校	非適用
中学校	体育の学士号を持っている体育教師は、体育の修士号または理学修士の大学院学位課程を提供する国内の大学に進むことができる。入学手続きは自身で行い、授業料は自費でまかなう。
高等学校	上記と同じプロセスで専門教育を受けることができる。

タイ王国のPETEの良い点

学校段階	CPD
幼稚園	非適用
小学校	非適用
中学校	タイのほとんどの主要大学では、体育教師のキャリアを目指す者に学士号、修士号、博士号のプログラムが提供されている。 PETEカリキュラムは、教育省と高等教育科学研究イノベーション省(MHESRI)によって認定されている。 観光スポーツ省下の国家スポーツ振興計画の第1次戦略計画によると、タイの学校とコミュニティの子供達に基本的なスポーツに似た活動を促進することが宣言されている。
高等学校	-体育局(DPE)は、「スポーツの才能がある」生徒にスポーツ大会の会場を提供するため、「National Student Games(全国学生試合)」の主催を担っている。

タイ王国のPETEの問題点

学校段階	問題点
幼稚園	幼稚園の年齢の子供には体育の授業がないため、この段階のタイの子供を対象とする身体発育プログラムは存在しない。
小学校	小学校には体育の授業がないため、生徒をより基本的なスポーツ活動へと誘う基本的な運動発達プログラムは存在しない。そのため、成長したときにスポーツに対して消極的な態度を取るといふ、より深刻な問題を招いている。
中学校	どの学校にも、体育授業運営の教育開発論に関わる指針がない。体育の指導では、スポーツのスキル達成をより重視するが、参加することや楽しさにはあまり関心を払わないことがほとんどである。
高等学校	特に、大学の入学選考プロセスで重視される数学、科学、英語など他の科目に比べて体育の授業が軽視される問題があり、高等学校の授業計画から体育の授業が排除されている。上記の国家スポーツ振興計画の第1次戦略計画は結局のところ、どのような形や場所であれ、まったく実施されていない。

タイ王国のPETEにおけるインクルージョン

学校段階	PETEプログラムにおけるインクルージョン
幼稚園	非適用
小学校	非適用
中学校	SPDと普通の生徒にインクルージョンを導入するという内容は、国家スポーツ振興計画の書面による方針またはカリキュラムの声明のどこにも記載されていない。SPDの生徒はほとんどの場合、プログラムから取り残されているか、体育の授業に消極的にしか関わっていない。
高等学校	中学校と状況は同じである。

タイ王国のPETEに関する研究

タイ王国における主題と課題

1) 教師に関連するタイの課題

→(主題/課題)

タイのPETEのプロセス全体の方向性を変えて、体育の授業でスポーツスキルを重視する体育教師だけでなく、子供の発育全体を重視する体育教師に焦点を合わせる必要がある。

2) 生徒に関連するタイの課題

→(主題/課題)

幼稚園から高等学校の年齢になるまで、発達の重要な節目に応じて生徒に体育活動を提供しなければならない。

タイ王国のPETEに関する研究

3) タイにおける運営の課題

a) 体育指導の監督/監視

→(主題/課題)

体育局が現在、学校の体育に無関係な観光・スポーツ省下にある一方で、教育省には学校における体育指導の監督と監視の役割を担う上で必要な体育の専門知識がないため、国レベルの体育の行政機関を再編する必要がある。

b) 体育の授業は拡大可能

→(主題/課題)

タイで体育の授業を拡大するにはまず、体育について新しい考え方をしてもらうよう国内の教育政策立案者に働きかける必要がある。

c) スタッフトレーニングプログラム(STP)

→(主題/課題)

PETE機関の体育スタッフ、ならびに学校レベルの体育教師を対象とする能力強化プログラムを編成する必要がある。

タイ王国のPETEに関する研究

4) 構造に関連するタイの課題(設備と用具)

→(主題/課題)

タイでは、体育の設備と用具の質と数は重視されている問題ではないが、体育の設備と用具の役割を最大限に活かすための運営能力はかなり深刻な問題になっている。

PETEに関する情報



ベトナム社会主義共和国

Mr. NGUYEN Trong Kien

Mr. DANG Van Sau

教育・訓練省 / ベトナムスポーツ局

学校カリキュラムにおける体育

学校段階	科目名または内容の分野	学校カリキュラムにおける時間配分
幼稚園	体育活動は、学校の教育活動(ダンス、歌、運動活動など)を通じて基本的な運動指導と一体となっている。	30分/日
小学校	体育 体育に関する一般的な知識 活動的なライフスタイルを送るため、および自己と社会性の発達のための運動技能 選択的なスポーツ	2セッション/週 (各セッションは40分) = 80分/週
中学校		
高等学校		

体育の目的

学校段階	身体的領域	認知領域	情意領域	社会的領域
幼稚園	身体的領域には、大きさや力の成長などの身体的変化の進展、ならびに粗大運動技能と微細運動技能の両方の発達が含まれる。	運動の知識に関連する認知技能	感情的領域では、感情や態度の成長に対処する。	社会的領域には、子供の理解力と感情をコントロールする力の増加が含まれる。
小学校	身体的領域には、大きさや力の成長などの身体的変化の進展、ならびに粗大運動技能と微細運動技能の両方の発達が含まれる。	運動の知識に関連する認知技能	感情的領域では、感情や態度の成長に対処する。	社会的領域には、子供の理解力と感情をコントロールする力の増加が含まれる。
中学校	身体的領域には、大きさや力の成長などの身体的変化の進展、ならびに粗大運動技能と微細運動技能の両方の発達が含まれる。	運動の知識に関連する認知技能	感情的領域では、感情や態度の成長に対処する。	社会的領域には、子供の理解力と感情をコントロールする力の増加が含まれる。
高等学校	身体的領域には、大きさや力の成長などの身体的変化の進展、ならびに粗大運動技能と微細運動技能の両方の発達が含まれる。	運動の知識に関連する認知技能	感情的領域では、感情や態度の成長に対処する。	社会的領域には、子供の理解力と感情をコントロールする力の増加が含まれる。

体育を教える担当者 体育を教えるための教員免許

学校段階	体育を教える担当者 (学級担任または専門教師)	教員免許
幼稚園	一般的な教師	体育の教員免許は不要
小学校	体育教師	体育大学の教員免許
中学校	体育教師	体育大学の教員免許
高等学校	体育教師	体育大学の教員免許

体育教師に求められる能力

体育教師養成中に得られる専門的能力が認知されれば、将来の教育の質に非常に重要な影響を及ぼすことができるそのような専門的能力は次のとおり:

- 生徒の重視
- 指導力
- 対人スキル
- コミュニケーション
- 忍耐力と適応力
- 調整力
- 創造性

ベトナム社会主義共和国のPETEにおける 継続的な専門教育(CPD)

学校段階	CPD
幼稚園	教師が職務能力を改善して、質の高い体育により効果的に貢献できるように、教育省は無料の標準コースを通じて教師を育成することに着目している。
小学校	教師が職務能力を改善して、質の高い体育により効果的に貢献できるように、教育省は無料の標準コースを通じて教師を育成することに着目している。
中学校	教師が職務能力を改善して、質の高い体育により効果的に貢献できるように、教育省は無料の標準コースを通じて教師を育成することに着目している。
高等学校	教師が職務能力を改善して、質の高い体育により効果的に貢献できるように、教育省は無料の標準コースを通じて教師を育成することに着目している。

ベトナム社会主義共和国のPETEの良い点

学校段階	良い点
幼稚園	授業管理、優れたコミュニケーション能力
小学校	レベルと高いコミュニケーション能力に応じた授業管理と教育計画
中学校	レベルと高いコミュニケーション能力に応じた授業管理と教育計画
高等学校	レベルと高いコミュニケーション能力に応じた授業管理と教育計画

ベトナム社会主義共和国のPETEの問題点

学校段階	問題点
幼稚園	体育指導に必要な教師と機器
小学校	体育と教師の状況について 体育指導に必要な教師と機器の不足
中学校	体育と教師の状況について 体育指導に必要な教師と機器の不足
高等学校	体育と教師の状況について 体育指導に必要な教師と機器の不足

ベトナム社会主義共和国のPETEにおけるインクルージョン

学校段階	PETEプログラムにおけるインクルージョン
幼稚園	実際のところ、体育の授業は、他の科目よりも低く見られていると考えられており、その証拠に体育の授業は他の科目よりも中止される頻度が高い。
小学校	ベトナムの学校の体育プログラムにおいては、男女の機会均等に問題はない。
中学校	障がいのある生徒に向けた体育に関するMOEの公式なガイドラインはなく、特別支援学校の障がいのある生徒には体育のプログラムがない。
高等学校	

ベトナム社会主義共和国のPETEに関する研究

- 1) 教師に関連する課題 → (ベトナムのPETEの主題/課題)
- 2) 生徒に関連する課題
- 3) 運営の課題
 - a) 体育指導の監督/監視
 - b) 体育の授業は拡大可能
 - c) スタッフトレーニングプログラム(STP)
- 4) 構造に関連する課題(設備と用具)



ASEAN-JAPAN ACTIONS ON SPORTS

ASEAN-JAPAN WORKSHOP on PROMOTING
Physical Education Teacher Education (PETE) and
Sport for People with Disability (SPD)

Workshop Participation Manual

-Workshop Period-
*From 14th February 2022 until 18th February
2022*

*Funded by: JAPAN SPORTS AGENCY (JSA)
Cooperated by: ASEAN SECRETARIAT (ASEC)*

*Hosted by: NIPPON SPORT SCIENCE UNIVERSITY (NSSU)
Co-hosted by: UNIVERSITY OF TSUKUBA*

*Please read the contents here at least one time before you
participate in the workshop from 14th until 18th February 2022.*

ASEAN-JAPAN Actions on Sports (Phase II) Workshop on Promoting PETE and SPD, February 2022



ASEAN-JAPAN ACTIONS ON SPORTS

ASEAN-JAPAN WORKSHOP on PROMOTING Physical Education Teacher Education (PETE) and Sport for People with Disability (SPD)

■ Welcome to the Workshop!

◆ Objectives

(PETE) To Develop Actionable Plans/Policy Guideline for Improving PETE in Each ASEAN Member State's Context

(SPD) To Identify Tasks for Promoting SPD in Each ASEAN Member State's Context

◆ Goal of Phase II

To Establish the Networks and Communities of PETE, and Also of SPD Among ASEAN Member States, and to Keep Them Growing for the Future.

■ Let's Enjoy the Workshop safely!

New Coronavirus Infectious Disease Prevention Measures and Requests to Participants

Nippon Sport Science University (NSSU) request all the participants to take necessary measures to ensure that all persons can participate in the workshop safely when hosting it. We would like to ask all participants for their cooperation in infectious disease prevention measures basically in accordance with the local restrictions applied by the government of your country.

<Ex. Prevention Measures: Recommended>

1. All participants and staff will take all possible measures to manage your physical condition, such as wearing a mask, washing your hands, and disinfecting your fingers, according to your necessity.
2. Please enforce thorough infection prevention measures such as three-Cs avoidance, disinfection in all processes of the workshop.
3. The participants who are speaking may not wear masks after thoroughly avoiding the Three Cs situations.
4. Please secure an appropriate distance for the persons in the same room and the space. In addition, the equipment (computer, cellular phone, etc.) which you use should be treated properly and disinfected constantly.
5. All participants try to wear masks and disinfect hands with alcohol before and after the workshop and also during breaks and lunch time according to necessity.
6. Please disinfect the venue before, during, and after the workshop.

ASEAN-JAPAN Actions on Sports (Phase II) Workshop on Promoting PETE and SPD, February 2022



ASEAN-JAPAN ACTIONS ON SPORTS

ASEAN-JAPAN WORKSHOP on PROMOTING Physical Education Teacher Education (PETE) and Sport for People with Disability (SPD)

■ Avoid the “Three Cs” in the Place Where You Are.

Important notice for preventing COVID-19 outbreaks.

Avoid the “Three Cs”!

- 1. Closed spaces** with poor ventilation.
- 2. Crowded places** with many people nearby.
- 3. Close-contact settings** such as close-range conversations.

One of the key measures against COVID-19 is to prevent occurrence of clusters. Keep these “Three Cs” from overlapping in daily life.

The risk of occurrence of clusters is particularly high when the “Three Cs” overlap!

In addition to the “Three Cs,” **items used by multiple people** should be cleaned with disinfectant.

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan | 厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare | MHLW COVID-19 Search | QR code

Source of reference: Hp of Ministry of Health, Labour and Welfare, Japan (https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan_00006.html)

ASEAN-JAPAN Actions on Sports (Phase II) Workshop on Promoting PETE and SPD, February 2022



ASEAN-JAPAN ACTIONS ON SPORTS

**ASEAN-JAPAN WORKSHOP on PROMOTING
Physical Education Teacher Education (PETE) and
Sport for People with Disability (SPD)**

■ Our Request for All Participants and Observers

For emergency during the workshop, we would like to request all the nominated representatives and the observers from ASEAN member states to join the Group Chat in WhatsApp we created exclusively for the workshop.

Please access from the link or from the QR code below, and register yourself as soon as possible!!!

<https://chat.whatsapp.com/JpbysDV0kpg6iGt9zIWDLq>





ASEAN-JAPAN ACTIONS ON SPORTS

ASEAN-JAPAN WORKSHOP on PROMOTING Physical Education Teacher Education (PETE) and Sport for People with Disability (SPD)

■ Workshop Schedule and Timeline

1) Time Schedule for the Workshop:

Time Zone

- Zone 1 Brunei Darussalam, Malaysia, Philippines and Singapore
- Zone 2 Cambodia, Indonesia, Lao PDR, Thailand and Viet Nam
- Zone 3 Myanmar

	Japan Time	Time Zone 1	Time Zone 2	Time Zone 3
A M	10:00 – 11:30	09:00 – 10:30	08:00-09:30	07:30 – 09:00
	Break			
	11:45 – 13:00	10:45 – 12:00	09:45 – 11:00	09:15 – 10:30
Lunch				
P M	14:00 – 15:00	13:00 – 14:00	12:00 – 13:00	11:30 – 12:30
	Break			
	15:15- 16:15	14:15 – 15:15	13:15 – 14:15	12:45 – 13:45
	Break			
	16:30 -17:30	15:30 – 16:30	14:30 – 15:30	14:00 – 15:00

	14 th Feb.	15 th Feb.	17 th Feb.	18 th Feb.
A M	①	⑥	⑪	⑯
	Break			
	②	⑦	⑫	⑰
Lunch				
P M	③	⑧	⑬	⑱
	Break			
	④	⑨	⑭	⑲
	Break			
	⑤	⑩	⑮	⑳

* The numbers (① to ⑳) correspond to Program Contents of the Workshop, described in 3).

* Each break is for 15 minutes and lunch time is for 1 hour.

2) Workshop Programme: Refer to the next pages...



ASEAN-JAPAN ACTIONS ON SPORTS

ASEAN-JAPAN WORKSHOP on PROMOTING Physical Education Teacher Education (PETE) and Sport for People with Disability (SPD)

■ Programme DAY 1 (14th Feb.)

Date	Time	Topic
14th Feb	AM	① Opening Ceremony <ul style="list-style-type: none"> • Self-introduction of all participants • Confirmation of goals on this project, sample of action plans and theoretical framework for policy development by UNESCO 2021(UNESCO,2021,pp.31-32.) (Assess Berlin Agenda, Berlin Declaration and Kazan Action Plan from your perspectives) • Sharing current issues on PETE generally among member states including inclusion based on assignment for the workshop (1): PE in school curriculum and objectives of PE (1) (15 min presentation for each country) • Q & A
		② Sharing current issues on PETE generally among member states including inclusion based on assignment for the workshop (2): PE in school curriculum and objectives of PE (2) (15 min presentation for each country) <ul style="list-style-type: none"> • Q & A
	PM	③ Sharing current issues on PETE generally among member states including inclusion based on assignment for the workshop (3): Inclusion in PETE in your country (1) (10 min presentation for each country) <ul style="list-style-type: none"> • Q & A
	④ Sharing current issues on PETE generally among member states including inclusion based on assignment for the workshop (4): Inclusion in PETE in your country (2) (10 min presentation for each country) <ul style="list-style-type: none"> • Q & A 	
	⑤ Teaching Physical Education for Students with Disabilities in Inclusion <ul style="list-style-type: none"> • Q & A 	

ASEAN-JAPAN Actions on Sports (Phase II) Workshop on Promoting PETE and SPD, February 2022



ASEAN-JAPAN ACTIONS ON SPORTS

ASEAN-JAPAN WORKSHOP on PROMOTING Physical Education Teacher Education (PETE) and Sport for People with Disability (SPD)

■ Programme DAY 1 (14th Feb.)

In sessions ① & ②, each country will be requested to make presentation on “**PE in school curriculum and objectives of PE**” using the format filled out by yourselves, and also to moderate presentation of the other country as shown in below chart.

No.	Time (10 min. for presentation and 5 min. for Q&A)	Presenter	Moderator
1	10:30-10:45 (Japan Time)	Brunei Darussalam	Cambodia
2	10:45-11:00	Cambodia	Indonesia
3	11:00-11:15	Indonesia	Lao PDR
4	11:15-11:30	Lao PDR	Malaysia
	11:30-11:45	Break	
5	11:45-12:00 (Japan Time)	Malaysia	Myanmar
6	12:00-12:15	Myanmar	Singapore
7	12:15-12:30	Singapore	Thailand
8	12:30-12:45	Thailand	Viet Nam
9	12:45-13:00	Viet Nam	Brunei Darussalam

In sessions ③ & ④, the subject will be “**Inclusion in PETE in your country**”.

No.	Time (8 min. for presentation and 2 min. for Q&A)	Presenter	Moderator
1	14:10-14:20 (Japan Time)	Brunei Darussalam	Cambodia
2	14:20-14:30	Cambodia	Indonesia
3	14:30-14:40	Indonesia	Lao PDR
4	14:40-14:50	Lao PDR	Malaysia
5	14:50-15:00	Malaysia	Myanmar
	15:00-15:15	Break	
6	15:15-15:25 (Japan Time)	Myanmar	Singapore
7	15:25-15:35	Singapore	Thailand
8	15:35-15:45	Thailand	Viet Nam
9	15:45-15:55	Viet Nam	Brunei Darussalam
	16:00-16:15	Prof. Sato and Prof. Nagata	
	16:15-16:30	Break	
	16:30-17:30	Prof. Sato and Prof. Nagata	

ASEAN-JAPAN Actions on Sports (Phase II) Workshop on Promoting PETE and SPD, February 2022



ASEAN-JAPAN ACTIONS ON SPORTS

ASEAN-JAPAN WORKSHOP on PROMOTING Physical Education Teacher Education (PETE) and Sport for People with Disability (SPD)

■ Programme DAY 2 (15th Feb.)

15th Feb	AM	⑥ Sharing current issues on PETE generally among member states including inclusion based on assignment for the workshop (5): Who teach physical education, teacher's license for teaching physical education and expected competencies of physical education teacher (1) (10 min presentation for each country)
		⑦ Who teach physical education, teacher's license for teaching physical education and expected competencies of physical education teacher (2)
	PM	⑧ Sharing current issues on PETE generally among member states including inclusion based on assignment for the workshop (6): Continuing Professional Development (CPD) in PETE in your country, Good points of PETE in your country, Shortcomings of PETE in your country, Research on PETE in your country (1) (10 min presentation for each country)
		⑨ Sharing current issues on PETE generally among member states including inclusion based on assignment for the workshop (7): Continuing Professional Development (CPD) in PETE in your country, Good points of PETE in your country, Shortcomings of PETE in your country, Research on PETE in your country (2) (10 min presentation for each country)
		⑩ Continuing Professional Development (CPD) in PETE in your country, Good points of PETE in your country, Shortcomings of PETE in your country, Research on PETE in your country (3)

16th Feb

This day is to prepare the drafts of Action Plan and Policy Guidelines for Improving PETE in each country. Based on these drafts, discussion will be held in the second half of the Workshop from 17th February on.

ASEAN-JAPAN Actions on Sports (Phase II) Workshop on Promoting PETE and SPD, February 2022



ASEAN-JAPAN ACTIONS ON SPORTS

ASEAN-JAPAN WORKSHOP on PROMOTING Physical Education Teacher Education (PETE) and Sport for People with Disability (SPD)

■ Programme DAY 2 (15th Feb.)

In session ⑥, each country will be requested to make presentation on “**Who teach Physical Education, Teacher's license for teaching Physical Education and Expected competencies of Physical Education**” by using the format filled out by yourselves, and also to moderate presentation of the other country as shown in below chart.

No.	Time (8 min. for presentation and 2 min. for Q&A)	Presenter	Moderator
1	10:00-10:10 (Japan Time)	Brunei Darussalam	Cambodia
2	10:10-10:20	Cambodia	Indonesia
3	10:20-10:30	Indonesia	Lao PDR
4	10:30-10:40	Lao PDR	Malaysia
5	10:40-10:50	Malaysia	Myanmar
6	10:50-11:00	Myanmar	Singapore
7	11:00-11:10	Singapore	Thailand
8	11:10-11:20	Thailand	Viet Nam
9	11:20-11:30	Viet Nam	Brunei Darussalam
	11:30-11:45	Break	
	11:45-13:00 (Japan Time)	Prof. Okade	

In sessions ⑧ & ⑨, the subject will be “**Continuing Professional Development (CPD) in PETE in your country, Good points of PETE in your country, Shortcoming of PETE in your country and Research on PETE in your country**”.

No.	Time (8 min. for presentation And 2 min. for Q&A)	Presenter	Moderator
1	14:10-14:20 (Japan Time)	Brunei Darussalam	Cambodia
2	14:20-14:30	Cambodia	Indonesia
3	14:30-14:40	Indonesia	Lao PDR
4	14:40-14:50	Lao PDR	Malaysia
5	14:50-15:00	Malaysia	Myanmar
	15:00-15:15	Break	
6	15:15-15:25 (Japan Time)	Myanmar	Singapore
7	15:25-15:35	Singapore	Thailand
8	15:35-15:45	Thailand	Viet Nam
9	15:45-15:55	Viet Nam	Brunei Darussalam
	16:00-16:15	Prof. Okade	
	16:15-16:30	Break	
	16:30-17:30 (Japan Time)	Prof. Okade	

ASEAN-JAPAN Actions on Sports (Phase II) Workshop on Promoting PETE and SPD, February 2022



ASEAN-JAPAN ACTIONS ON SPORTS

ASEAN-JAPAN WORKSHOP on PROMOTING Physical Education Teacher Education (PETE) and Sport for People with Disability (SPD)

■ Programme DAY 3 (17th Feb.)

17th Feb	AM	⑪ Developing policy guideline and action plan on PETE (1): The Checklist for assessing the Stages (UNESCO,2021,p.16) + Increasing access and influencing policy outcomes (UNESCO,2021,p.4)
		⑫ Developing policy guideline and action plan on PETE (2): How to win friends and create momentum for policy change (UNESCO,2021,p.36) + Checklist how to use social media (UNESCO,2021,p.40)
	PM	⑬ Preparation for the presentation for action plan for quality PETE in each country (1)
		⑭ Preparation for the presentation for action plan for quality PETE in each country (2)
		⑮ Preparation for the presentation for action plan for quality PETE in each country (3)
		(17:00-17:30) Presentation of action plan from each member states (Viet Nam)



ASEAN-JAPAN ACTIONS ON SPORTS

ASEAN-JAPAN WORKSHOP on PROMOTING Physical Education Teacher Education (PETE) and Sport for People with Disability (SPD)

■ Programme DAY 4 (18th Feb.)

18th Feb	AM	⑯ Presentation of action plan from each member states (1) (30 min presentation for each country)
		⑰ Presentation of action plan from each member states (2) (30 min presentation for each country)
	PM	⑱ Presentation of action plan from each member states (3) (30 min presentation for each country)
		⑲ Presentation of action plan from each member states (4) (30 min presentation for each country)
		Sharing idea and discussion for establishing continuous relationship as PETE community in ASEAN (1)
	⑳ Sharing idea and discussion for establishing continuous relationship as PETE community in ASEAN (2)	
		● Closing Ceremony

※All the sessions are subject to alterations according to the progress of discussion, etc.

In sessions ⑯ until ⑲, each country will be requested to make presentation of “Action Plan” by using the draft you make during the workshop and also to moderate presentation of the other country as shown in below chart.

No.	Time (20 min. for presentation and 10 min. for Q&A)	Presenter	Moderator
1	10:10-10:40 (Japan Time)	Brunei Darussalam	Cambodia
2	10:40-11:10	Cambodia	Indonesia
3	11:10-11:40	Indonesia	Lao PDR
	11:40-11:55	Break	
4	11:55-12:25 (Japan Time)	Lao PDR	Malaysia
5	12:25-12:55	Malaysia	Myanmar
	12:55-14:00	Lunch	
6	14:00-14:30 (Japan Time)	Myanmar	Singapore
7	14:30-15:00	Singapore	Thailand
	15:00-15:15	Break	
8	15:15-15:45 (Japan Time)	Thailand	Brunei Darussalam
9	15:45-16:15	Sharing Information and discussion for establish continuous relationships as PETE community in ASEAN (1)	
	16:15-16:30	Break	

ASEAN-JAPAN Actions on Sports (Phase II) Workshop on Promoting PETE and SPD, February 2022



ASEAN-JAPAN ACTIONS ON SPORTS

ASEAN-JAPAN WORKSHOP on PROMOTING Physical Education Teacher Education (PETE) and Sport for People with Disability (SPD)

■ Representatives From ASEAN Member States

Country Name	PETE	Name of Representative	SPD	Name of Representative
Brunei Darussalam		Mr. Haji Muhammad Azrin HAJI AJI		Ms. Noor Masieyzan HAJI OTHMAN
Cambodia		Ms. HOU Sitthisophealai		Mr. YI Sopheaktra
Indonesia		Mr. Moses Eleazar FERDINANDUS		Mr. Luluk HADIYANTO
Lao PDR		Ms. Chanhthone KHAMKONG		Mr. Thongsavath VONGSAVANG
Malaysia		Ms. Solehah MISRON		Ms. Rafidah binti ABU BAKAR
Myanmar		Mr. Ko Ko Htay		Prof. Than Than Htay
Singapore		Mr. Andrew LEE		Ms. Kelly FAN
Thailand		Dr. Kasem NAKORNKHET		Dr. Taweechoak PONGDEE
Viet Nam		Mr. NGUYEN Trong Kien		Mr. DANG Van Sau

※In Philippines, the process of nomination of 2 representatives is ongoing.



ASEAN-JAPAN ACTIONS ON SPORTS

ASEAN-JAPAN WORKSHOP on PROMOTING Physical Education Teacher Education (PETE) and Sport for People with Disability (SPD)

Japanese Project Team Members

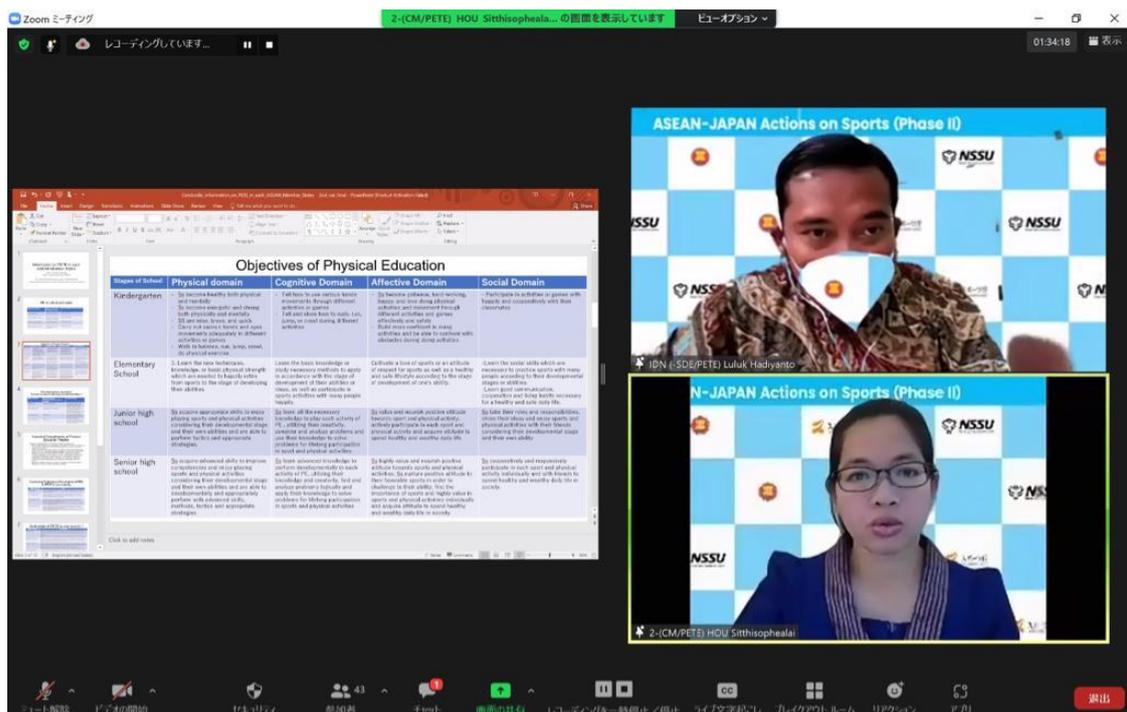
PETE	Name of Professor	SPD	Name of Professor
	Prof. Dr. Yoshinori Okade (Nippon Sport Science University)		Prof. Dr. Takahiro Sato (University of Tsukuba)
	Prof. Dr. Tomoyasu Kondo (Nippon Sport Science University)		Associate Prof. Dr. Mayumi Saito (University of Tsukuba)
	Associate Prof. Dr. Kosuke Suzuki (Nippon Sport Science University)		Associate Prof. Dr. Yukinori Sawae (University of Tsukuba)
	Assistant Dr. Takuro Okumura (Nippon Sport Science University)		Assistant Prof. Dr. Shinichi Nagata (University of Tsukuba)
	Associate Prof. Dr. Eishin Teraoka (Keio University)		Research Fellow
	Assistant Prof. Taku Yamaguchi (University of Tsukuba)		Sakae Hakariya (Nippon Sport Science University)
	Assistant Prof. Takuya Shimokubo (Niigata University of Health and Welfare)		Yu Shishido (Nippon Sport Science University)

資料3 ワークショップの様子(写真)

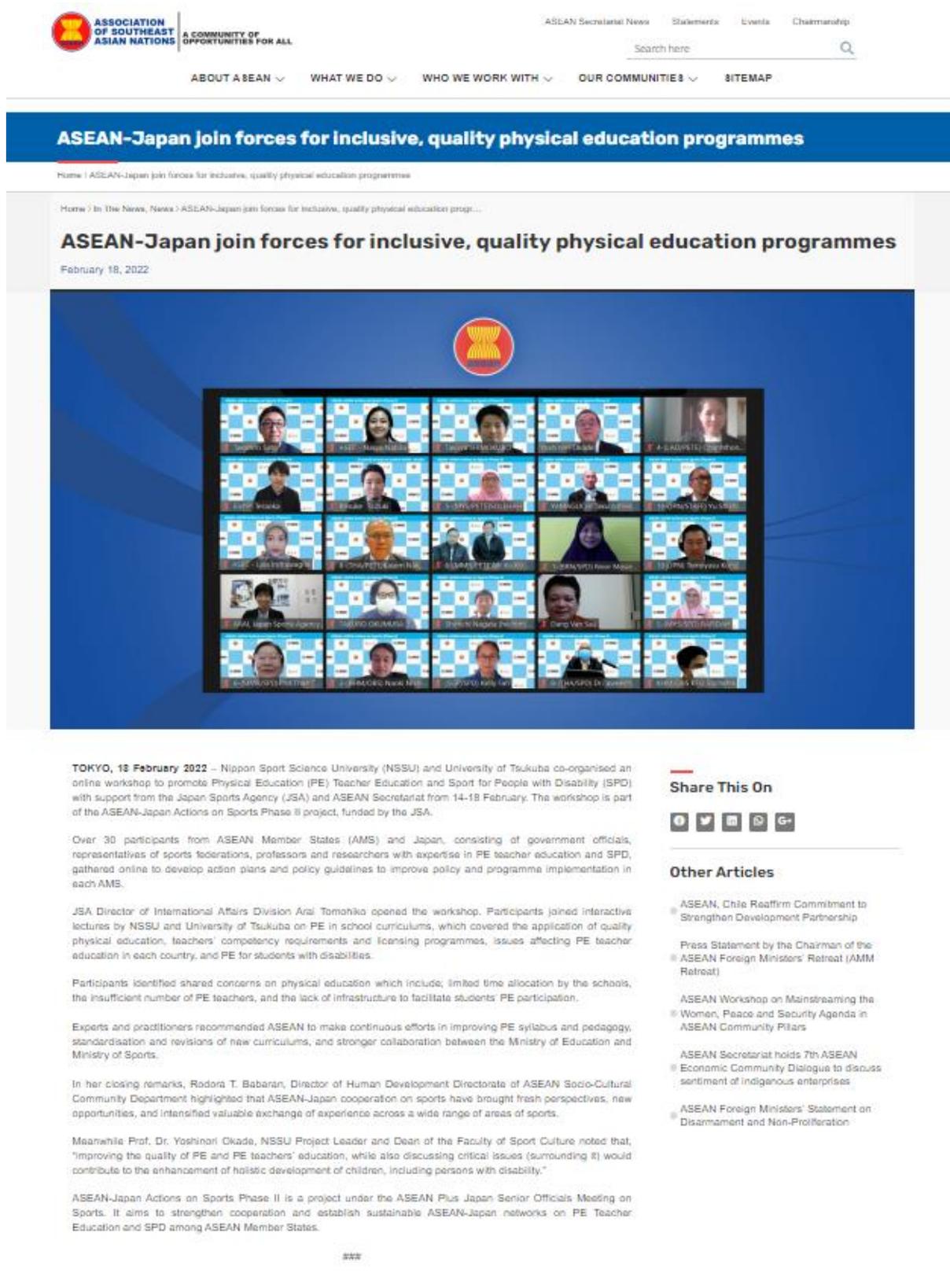
1) マレーシアの進行のもとラオスのカウンターパート2名の発表に講評を行う様子



2) インドネシアの進行のもと発表を行うカンボジア体育教師教育担当カウンターパート



資料4 ASEAN ホームページにおけるワークショップ開催に係るプレスリリース



The screenshot shows the ASEAN website's news section. At the top, there is the ASEAN logo and navigation links for 'ASEAN Secretariat News', 'Statements', 'Events', and 'Chairmanship'. Below this is a search bar and a menu with categories like 'ABOUT ASEAN', 'WHAT WE DO', 'WHO WE WORK WITH', 'OUR COMMUNITIES', and 'SITEMAP'. The main headline reads 'ASEAN-Japan join forces for inclusive, quality physical education programmes'. Below the headline, there is a date 'February 18, 2022' and a large image of a video conference grid with 25 participants. To the right of the image, there is a 'Share This On' section with social media icons and a list of 'Other Articles' including 'ASEAN, Chile Reaffirm Commitment to Strengthen Development Partnership', 'Press Statement by the Chairman of the ASEAN Foreign Ministers' Retreat (AMM Retreat)', 'ASEAN Workshop on Mainstreaming the Women, Peace and Security Agenda in ASEAN Community Pillars', 'ASEAN Secretariat holds 7th ASEAN Economic Community Dialogue to discuss sentiment of indigenous enterprises', and 'ASEAN Foreign Ministers' Statement on Disarmament and Non-Proliferation'. The main text of the press release is on the left, starting with 'TOKYO, 18 February 2022 - Nippon Sport Science University (NSSU) and University of Tsukuba co-organised an online workshop to promote Physical Education (PE) Teacher Education and Sport for People with Disability (SPD) with support from the Japan Sports Agency (JSA) and ASEAN Secretariat from 14-18 February. The workshop is part of the ASEAN-Japan Actions on Sports Phase II project, funded by the JSA.'

TOKYO, 18 February 2022 – Nippon Sport Science University (NSSU) and University of Tsukuba co-organised an online workshop to promote Physical Education (PE) Teacher Education and Sport for People with Disability (SPD) with support from the Japan Sports Agency (JSA) and ASEAN Secretariat from 14-18 February. The workshop is part of the ASEAN-Japan Actions on Sports Phase II project, funded by the JSA.

Over 30 participants from ASEAN Member States (AMS) and Japan, consisting of government officials, representatives of sports federations, professors and researchers with expertise in PE teacher education and SPD, gathered online to develop action plans and policy guidelines to improve policy and programme implementation in each AMS.

JSA Director of International Affairs Division Arai Tomohiko opened the workshop. Participants joined interactive lectures by NSSU and University of Tsukuba on PE in school curriculums, which covered the application of quality physical education, teachers' competency requirements and licensing programmes, issues affecting PE teacher education in each country, and PE for students with disabilities.

Participants identified shared concerns on physical education which include; limited time allocation by the schools, the insufficient number of PE teachers, and the lack of infrastructure to facilitate students' PE participation.

Experts and practitioners recommended ASEAN to make continuous efforts in improving PE syllabus and pedagogy, standardisation and revisions of new curriculums, and stronger collaboration between the Ministry of Education and Ministry of Sports.

In her closing remarks, Roderia T. Babaran, Director of Human Development Directorate of ASEAN Socio-Cultural Community Department highlighted that ASEAN-Japan cooperation on sports have brought fresh perspectives, new opportunities, and intensified valuable exchange of experience across a wide range of areas of sports.

Meanwhile Prof. Dr. Yoshinori Okada, NSSU Project Leader and Dean of the Faculty of Sport Culture noted that, "improving the quality of PE and PE teachers' education, while also discussing critical issues (surrounding it) would contribute to the enhancement of holistic development of children, including persons with disability."

ASEAN-Japan Actions on Sports Phase II is a project under the ASEAN Plus Japan Senior Officials Meeting on Sports. It aims to strengthen cooperation and establish sustainable ASEAN-Japan networks on PE Teacher Education and SPD among ASEAN Member States.

出典：

<https://asean.org/asean-japan-join-forces-for-inclusive-quality-physical-education-programmes/>

スポーツ庁委託研究 スポーツ国際展開基盤形成事業

「スポーツ国際政策推進基盤の形成：政府間会合の合意事項の履行 令和3年度」報告書

日本体育大学

プロジェクトリーダー：岡出 美則

〒158-8508

東京都世田谷区深沢 7-1-1

TEL：03-5706-0900 FAX：03-5706-0823

作成日：2022年（令和4年）3月31日